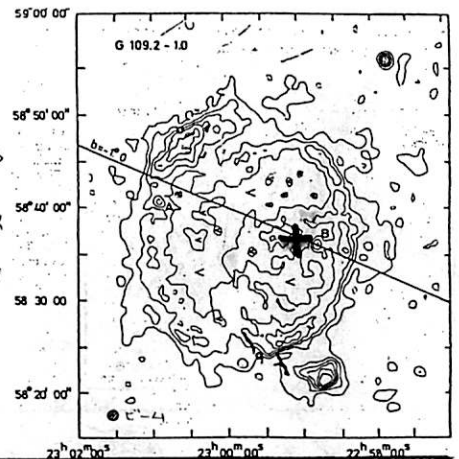


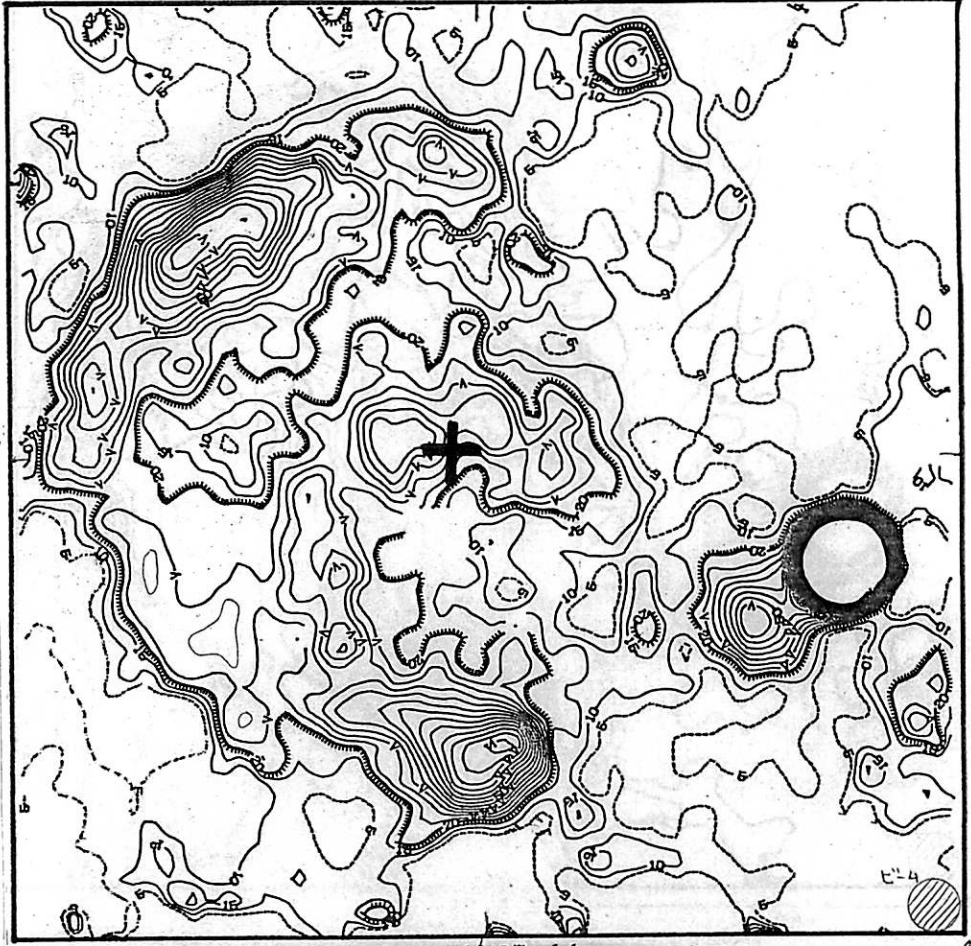
1982.12.22.



610MHz
WSRTマッピング
マッピング
(Hughes et al
1981)

共同利用観測
初成果です！
X-線パルサーをもつ
超新星レムナント

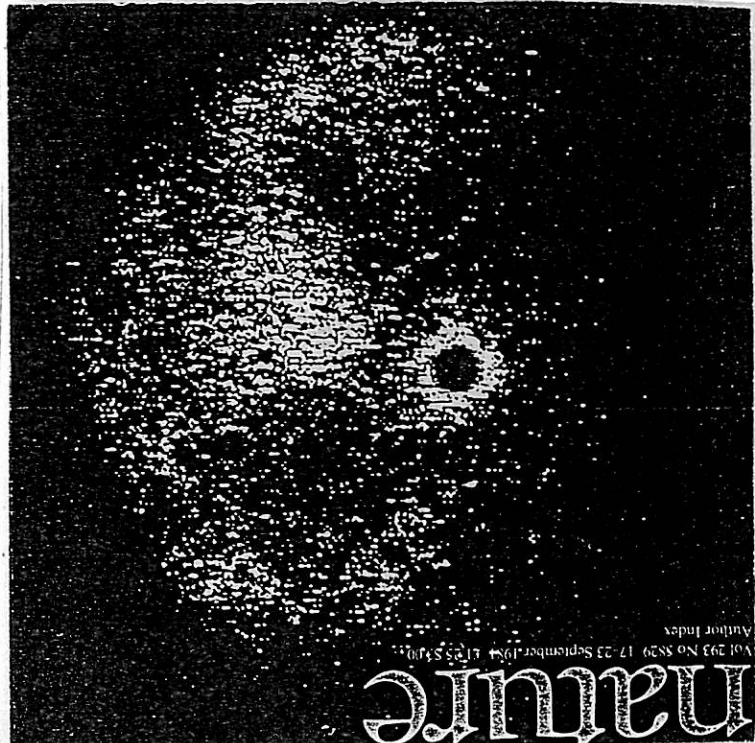
G109.1-1.0
NRO 10GHz 48'x48' マッピング



1982年12月13-18日、45m鏡58°36'初の共同利用観測が行われ、10GHz帯コンチニウムで電波源のフラックス測定やマッピングがされた。観測は大勢順調に行われ、初の共同利用としては満足のゆくものであった。

(1) 右下図はアインシュタイン衛星に於けるX-線パルサー(中心天体)と、そのまわりを半円状にかこむ超新星レムナント G109.1-1.0 のX-線(0.1-4.5 KeV) イメージ。パルサーの位置は RA=22^h59^m02.5^s, Dec=58°36'38\"

(2) 右上図は NRO 45m鏡による10GHzコンチニウムマッピングの結果。図の中心は RA=22^h58^m50^s, Dec=58°36'。十字印はX-線パルサーの位置。半円状のシエラがきれいに現れている。右上は(1)の610MHzマッピングと比較するとパルサーの右側でシエラの電波スポットがまわしスプレッドしていることがわかる。



20'

G109.1-1.0
0.1-4.5 KeV X-線イメージ (Farman & Gregory 1981)

Author Index
Vol 193 No 5829 17-23 September 1984
nature